

# 令和6年度病虫害発生予察情報 発生予報第6号

令和6年8月7日  
発表：福島県病虫害防除所

## 1 普通作物

作物名	病虫害名	地方	発生時期	発生量	予報の根拠	防除上注意すべき事項
水 稲	いもち病 (穂いもち)	中通り 浜通り  会 津	やや早い ～早い  平年並	平年並	農業総合センター作柄解析試験の結果から、本年の出穂期は中通り、浜通りでやや早い～早く、会津で平年並と予想される。 7月下旬の巡回調査では、葉いもちの発生ほ場割合は平年より低かった(－)。 BLASTAMによる葉いもち感染好適条件を満たす日は周期的に出現している(+)	散布剤は穂ばらみ末期と穂揃期に施用する。 薬剤耐性菌の出現を防ぐため、同一系統の薬剤の連用はさける。
	紋枯病	全 域	平年並	平年並	7月下旬の巡回調査では、発病程度は平年並に低かった(±)	窒素肥料の多用をさける。 散布剤は穂ばらみ期～穂揃期に施用する。 気温が高いと上位葉鞘への進展が早い <u>ため、注意する。</u> 前年に発生が見られたほ場では本年の発生に注意する。
	斑点米 カメムシ類	中通り 浜通り  会 津	やや早い ～早い  平年並	多い	本年の出穂期は中通り、浜通りでやや早い～早く、会津で平年並と予想される。 7月下旬のすくい取り調査では、畦畔雑草での発生量が平年より多かった(+) 天候予報によると、向こう1か月の気温は高いと予想されている(+)	<b>割れ穂の発生しやすい品種では、カスミカメ類による被害が助長されやすいため注意する。</b> 詳細については7月10日付け注意報第2号を参照する。

注) 予報の根拠の中で(+)は多発要因、(－)は少発要因、(±)は平年並要因であることを示す。

より詳しい発生状況や防除対策は、

福島県病虫害防除所ホームページ<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>をご覧ください。

お問い合わせはTEL:024-958-1709、FAX:024-958-1727またはe-mail:yosatsu@pref.fukushima.lg.jpへお願いします。

### ○注意が必要な病虫害

ダイズ	<p><b>■吸実性カメムシ類</b></p> <p>一部のほ場で成虫の発生が認められています。莢の吸汁により子実の不稔、変形などの被害が発生し収量と品質に影響します。防除適期は着莢期から子実肥大盛期となります。成虫の発生状況に注意してください。</p>
-----	---

**◆福島県では6月10日から9月10日まで令和6年度農業危害防止運動を実施します◆**  
農業を使用する際は、ラベルをよく読んで正しく使用しましょう。